

## 情報通信審議会 情報通信技術分科会

### 電波利用環境委員会 CISPR B 作業班(第 21 回)

#### 議事要旨

- 1 開催日時：令和 4 年 8 月 29 日（月）13:00～15:00
- 2 開催場所：Web 会議開催 (Cisco Webex)
- 3 出席者（敬称略）

【構成員】久保田主任 (VCCI)、塚原主任代理 (JQA)、中村主任代理 (鉄道総研)、井上 (博) 構成員 (JEMA)、井上 (正) 構成員 (トーキン)、江頭構成員 (JR 東日本)、尾崎構成員 (富士電機)、加藤構成員 (REEA)、木下構成員 (JEITA)、久保構成員 (NHK)、栗原構成員 (牧野フライス)、田島構成員 (NTT-AT)、田邊構成員 (日本大学)、徳田構成員 (富士電機)、永野構成員 (ARIB)、平野構成員 (JFMDA)、真嶋構成員 (JEMA)、松波構成員 (JRA)、三塚構成員 (TELEC)、安江構成員 (電気事業連合会)、山中構成員 (NICT)、山本構成員 (JET)

【関係者】両宮関係者 (VCCI)、疋田関係者 (KEC)

【事務局】総務省：島田電波利用環境専門官、伊藤電波監視官、下谷電磁障害係長、木村官

#### 4 議事要旨

##### (1) CISPR B 小委員会 国際会議審議結果

久保田主任より資料 21-1 に基づき説明が行われた。

##### (2) CISPR サンフランシスコ会議 対処方針 (案) について

久保田主任より資料 21-2 に基づき説明が行われた。

##### (3) 電波利用環境委員会 報告書(案)について

久保田主任より資料 21-3-1、21-3-2 に基づき説明が行われ、以下の質疑があった。

田島構成員：ビーム WPT について、今後どのような測定法が予想されるか。

久保田主任：ビーム WPT の測定法については議論が止まっている。測定器との位置関係の影響が大きい事や、送信機と受信機の関係から送信機だけで常時送信しながら測定をするような事が出来ないという問題があり、測定のセットアップ方法等について考えなければならない。なお、日本においては無線設備の扱いとなるため、その考えに則った測定をすれば良い。

山中構成員：CISPR 37 の in situ (設置場所) 測定について、対処方針によると CISPR 11 は CISPR 37 を参照する旨の記載がある。CISPR 37 の作成にあたり、CISPR 11 を改訂する必要があるか。また、EV 向け WPT の新しい Fragment については 3 点ほど

残っているが、独立に議論するのか、まとめて議論するのか。

- 田島構成員 : CISPR 37 について明確な結論は出ていないが、CISPR 37 は CISPR 11 の in situ 測定を定めるものであり、基本的に CISPR 11 を参考にする。現状ではそれ以上の議論は無いが、CISPR 11 が改訂されるとそれに併せて CISPR 37 は改訂されるだろうと思う。
- 久保田主任 : CISPR 37 と CISPR 11 との関係について、私の認識では、CISPR 37 を作るにあたり測定条件を細かく議論はするが、許容値については基本的に CISPR 11 を変えないという前提でスタートした。しかし、CISPR 11 は ISM 機器が設置されている建物の外側の壁から何mで測る、といった規定をしているが、CISPR 37 の in situ の測定については機器が設置されている部屋で、機器の横で測定するという導入しようとしており、辻褄が合わないことになっているので、CISPR 37 と CISPR 11 の関係はまだ方針が定まっておらず、引き続き議論が必要。
- もう一点、EV 向け WPT に関しては、「30MHz 以下の電界強度測定法」「150kHz～30MHz の放射妨害波許容値」「9～150kHz の伝導妨害波許容値」の3点の Fragment が残っており、これらを Sub-Fragment のような形で一本にまとめて議論すべきだという意見もある。しかし、一本化する意味はあまりないように思えるので、独立に議論して最終的に FDIS になってからどこまでまとめるか考えたら良いと思う。
- 雨宮オブザーバ : CISPR 37 を in situ 測定した際、タイプテストを要求することはあるのか。
- 田島構成員 : 現時点では、タイプテストについては考慮しない。
- 雨宮オブザーバ : WPT で駆動された EUT から発生する WPT の周波数との相互変調のエミッションは CISPR 11 で考慮されているのか。
- 久保田主任 : CISPR 11 は WPT のエミッションを全て対象としている。
- 尾崎構成員 : CISPR 11 の WPT の相互変調に関して、そもそも試験方法が相互変調の影響をあまり受けないようになっているのではないかと。
- 雨宮オブザーバ : 充電時にはほとんど問題が無く、給電時に問題になる。タブレット単体では CISPR 32 を満たしており問題ないが、WPT の給電時に相互変調で強いエミッションが出る可能性がある。
- 久保田主任 : I 小委員会では給電パッドは PC やタブレット本体の付属品ではなく、別々に評価すべきという認識か。
- 雨宮オブザーバ : パソコンと AC アダプタのようにセットで販売されるような場合は問題ないが、Qi 給電のようなデバイスの場合に問題になる可能性がある。
- 久保田主任 : 可能性のある組み合わせを試す等、色々なケースについて評価する必要がある。
- 井上(正)構成員 : 報告書案(資料 21-3-2) p.9 に「30MHz 以下の電界測定を磁界測定の補足として追加することを合意した。」とあるが、この電界強度の測定は 30MHz の磁界測定の代わりになるのか、それとも両方評価する必要があるのか。

- 久保田主任 : あくまで補足であり、基本的な測定法は磁界強度の測定である。EV 向け WPT はパワーユニットからコイルまでの距離に長い接続線が入る場合がある。そのため、一部からそこにコモンモードによる放射があるのではないかと強い主張があった。そこで、電界強度での測定も行い、電界だけ強く測定されるというようなことを無いようにする。ただ、どのようなアンテナを設置するのか等、まだ議論が必要。
- 井上(正)構成員 : 磁界があまり放射されていなくても大きい電界が放射されていたことがあるような背景があるのか。
- 久保田主任 : まだデータがないため、測定したいと思っている。現在、米国の標準化団体に協力をお願いしている状態。

#### (4) CISPR サンフランシスコ会議 参加者(案)について

久保田主任より、資料 21-4 に基づき説明が行われ、以下の質疑があった。

- 尾崎構成員 : 代表団長は誰にするのか。
- 久保田主任 : 現時点では確定していない事もあり、今後検討していく予定。

#### (5) その他

- 山中構成員 : 現在回付中の CIS/B/802/FDIS について確認したい。AnnexH についてコメントを付すといったことについてどのようになっているか。
- 徳田構成員 : 真嶋構成員から CISPR 11 から Web 上のガイダンスにアクセス出来ないかという提案があった。既に FDIS の段階なので基本的には誤字の修正程度しか意見できないが、意見を出すのであれば、具体的な意見をまとめて出すべきと提案している。
- 久保田主任 : 既に FDIS なので今回の変更は難しく、次回以降として考えた方が良いと思う。
- 山中構成員 : 今回の意見としてではなく、次の版の要望としてコメントを提出することは可能か。
- 久保田主任 : 可能である。

以上